

平成 29 年度アーツ・コンソーシアム大分
構築計画実績報告書

～クリエイティブな文化と評価へ～

2018年3月

アーツ・コンソーシアム大分

はじめに

大分県は、長期総合計画「安心・活力・発展プラン 2015」の中に、政策の柱として「芸術文化による創造県おおいたの推進」を掲げ、芸術文化の創造とともに、芸術文化の持つ創造性を生かした地域づくりを推進することとした。

そして「創造県おおいた」のサステナブル（持続可能）な推進体制を構築すべく、2016年6月に、大分県、大分県立芸術文化短期大学、大分県芸術文化スポーツ振興財団の3者からなるコンソーシアム（共同事業体）型の組織として「アーツ・コンソーシアム大分」を立ち上げたところである。

アーツ・コンソーシアム大分は、初年度の事業実績を「平成28年度アーツ・コンソーシアム大分構築計画実績報告書～創造県おおいたの推進体制構築に向けて～」にまとめ、2017年3月に公表を行っている。2年目となる2017年度は、前年度事業を踏まえて調査研究のさらなる深化を図っており、当報告書はその成果をとりまとめたものである。以下、当報告書の構成を俯瞰したい。

「第1章 アーツ・コンソーシアム大分について」では、コンソーシアムの概要について紹介を行っている。「第2章 文化の価値と公的関与の意義」では、芸術文化振興施策のあり方を考えるうえで、文化の本質的価値と社会的・経済的価値の関係や、文化振興に公共が関与する意義などについて整理を試みた。芸術文化振興施策に関するこれまでの調査研究を経て、今回1つの仮説として提示したものであり、その内容については今後もさらに研鑽を重ねてまいりたい。

第3～7章にかけては、芸術文化振興施策やアートプロジェクトの評価のための調査研究と試行評価の結果について報告している。「第3章 わが国における評価のトレンド」では、社会的インパクト評価や発展的評価といった近年注目を集めている評価の潮流を概観している。「第4章 芸術文化振興施策の評価」では、第3章を踏まえて、芸術文化事業の評価に関する先行研究の分析や、大分県内におけるアートプロジェクトの評価のあり方の検討を行った。そして「第5章 TAKETA ART CULTURE の評価」ならびに「第6章 混浴温泉世界実行委員会事業の評価」には、それぞれ竹田市、別府市で開催されたアートプロジェクトの評価に伴走支援を行った結果を掲載している。それらの試行評価からエッセンスを抽出して「第7章 アートプロジェクト評価の標準的手法」で、県内でアートプロジェクトを実施する際に活用しうる標準的評価手法の提案を行った。

「第8章 人材育成」では、アーツ・コンソーシアム大分の事業成果の情報発信を通じた人材育成の取り組みを紹介している。

この報告書が、大分県内で芸術文化活動や地域づくり活動に取り組む多くの人々の参考となり、「創造県おおいた」を着実に推進していく体制づくりの一助となれば幸いである。

2018年3月
アーツ・コンソーシアム大分

目 次

第1章	アーツ・コンソーシアム大分について・・・・・・・・	1
第2章	文化の価値と公的関与の意義・・・・・・・・	3
第3章	わが国における評価のトレンド・・・・・・・・	17
第4章	芸術文化振興施策の評価・・・・・・・・	36
第5章	TAKETA ART CULTURE の評価・・・・・・・・	44
第6章	混浴温泉世界実行委員会事業の評価・・・・・・・・	50
第7章	アートプロジェクト評価の標準的手法・・・・・・・・	59
第8章	人材育成・・・・・・・・	69
参考資料	・・・・・・・・	72

平成 29 年度アーツ・コンソーシアム大分構築計画実績報告書
～クリエイティブな文化と評価へ～


発 行 2018 年 3 月

著 者 アーツ・コンソーシアム大分

執筆担当 (公財) 大分県芸術文化スポーツ振興財団

アーツラボラトリー室 三浦宏樹 後藤麻里恵

〒870-0029 大分県大分市高砂町 2 番 33 号 iichiko 総合文化センター内
097-533-4011 (代)

助 成  平成 29 年度 文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業
文化庁

* 無断複写・転載はお断りします。